

# 武蔵国分寺跡資料館だより

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum Newsletter

編集・発行・印刷

見る／学ぶ／訪ねる／

武蔵国分寺跡資料館

Musashi Kokubunji Temple Remains Museum

【住所】 〒185-0023 東京都国分寺市西元町1-13-10

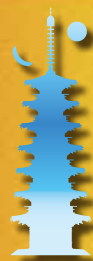
【電話】 042-323-4103 【FAX】 042-300-0091

【E-mail】 museum@city.kokubunji.tokyo.jp

【HPアドレス】

<http://www.city.kokubunji.tokyo.jp/shisetsu/kouen/1005196/1004239.html>

2016.10  
第28号



## Temporary Exhibition



武蔵国分寺跡資料館 平成28年度秋季企画展

## 幻の赤米

### — 国分寺の稲作について —

平成9年、ジャポニカ種に分類される貴重な赤米稲が、東京都国分寺市東恋ヶ窪の畑で発見されました。この赤米稲は、市内に所在する武蔵国分寺跡にちなみ、「武蔵国分寺種赤米」と呼ばれ、これまで国分寺市外で保存栽培がなされてきました。平成27年に畑で育てる陸稲（おかぼ）として国分寺市内での栽培を再開し、市内での復活を目指しています。

本展示ではこの「武蔵国分寺種赤米」と国分寺市における稲作についてご紹介します。



市内東元町で栽培を再開した「武蔵国分寺種赤米稲」（平成27年）



「武蔵国分寺種赤米」などの赤米には芒（のぎ）と呼ばれるヒゲがある。



市内東恋ヶ窪の畑に育っていた武蔵国分寺種赤米稲（平成11年9月1日撮影、長沢利明氏提供）



左から、岡山県国司神社の赤米（玄米）、武蔵国分寺種赤米（玄米）、普通の白米。赤米も品種によって色合いが異なります。

■開館時間 午前9時～午後5時（入館は午後4時45分まで）

■期 間 平成28年11月12日（土）～  
12月25日（日）

■会 場 武蔵国分寺跡資料館 講座室

■入 館 料 「おたかの道湧水園」への入園料が必要

■休 館 日 月曜日（祝・振替休日の場合は直後の平日）



## 入園(入館)者 10万人を達成

# 入園 入館 10万人!

### 武蔵国分寺跡資料館

10万人目の来場者は府中市にお住まいのご夫妻で、当日は来園者10万人達成を記念してセレモニーが、おたかの道湧水園内において行われました。井澤市長らによりお祝いの挨拶が述べられた後、記念品として国分寺市教育委員会から文化財図書と年間パスポート、史跡の駅「おたカフェ」等から商品セットがそれぞれ贈呈されました。

ご夫妻はテレビで史跡武蔵国分寺跡を知り、休日を利用して史跡の散策に訪れたそうです。湧水園と資料館へは初めて来園され、史跡ガイドボランティアの案内で、

平成21年10月18日にオープンした国分寺市立歴史公園 おたかの道湧水園(武蔵国分寺跡資料館)への入園(入館)者が、平成28年10月1日(土曜日)午後2時10分に通算10万人となりました。

1時間程度の時間をかけてじっくりと館内を見学して回られました。

記念すべき10万人目の来場者となられて、ご夫妻は大変驚かれています。「本日はこのようなセレモニーを開催してくれてうれしく思う」と答えていらっしゃいました。また、史跡や資料館についても「殿ヶ谷戸庭園から歩いて史跡まで来たが、道すがらいろいろな歴史の痕跡が見られて面白かった」、「ボランティアガイドの説明もわかりやすく、館内の見学を通して知識を深められた」といった感想を話されていました。

資料館の中で特に印象に残ったものとして武蔵国分寺の伽藍の復元模型と古代瓦の大きさを挙げ、「実際に目で見る事で、武蔵国分寺の広さを認識できた」とおっしゃっていました。そして10月10日の薬師如来坐像公開日にも、またおたかの道湧水園に立ち寄りたいたいとおっしゃっており、大変満足された様子でした。

来園者10万人達成記念として、来園者先着100名様に対してオリジナルクリアファイルと「ぶんじほたるホッチ」ステッカーのセットを配布しました。

市では、今後とも多くの来園者が訪れる場所になるように、歴史公園や歴史的建造物の整備、武蔵国分寺跡資料館の活動を充実させていきたいと思っております。

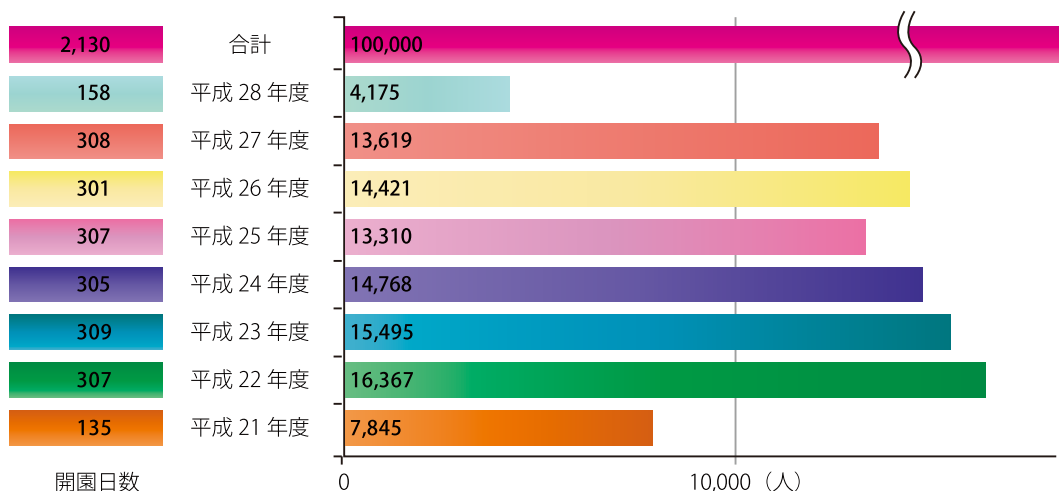


おたかの道湧水園・七重塔模型前にて

武蔵国分寺跡資料館  
イメージキャラクター「ぶんじ」



明日華姫ちゃん



開館日数と年度別入園(入館)者数 ※平成28年度は10月1日午後2時10分まで



## 武蔵国分寺跡資料館巡回ミニ展示



## 武蔵国分寺の造営（瓦生産）

武蔵国分寺跡資料館で行った平成 28 年度夏季企画展『武蔵国分寺の造営（瓦生産）』の巡回ミニ展示を 9 月 27 日（火）から開催しています。武蔵国分寺で使用された瓦の生産地である 4 地域の窯跡群を紹介し、古代の各時期の瓦生産の状況や、瓦からみた国分寺の造営についてご説明します。

【展示期間】 平成 28 年 9 月 27 日（火）～

【観覧時間】 駅ビルの休館日、元日を除く毎日  
午前 9 時から午後 10 時まで

【展示場所】 国分寺 L ホールショーウィンドウ  
（国分寺市南町 3-20-3 駅ビル 8 階）



巡回ミニ展示風景

## Events

## 多摩郷土誌フェア



第 29 回多摩郷土誌フェアが開催されます。多摩郷土誌フェアでは、多摩地区 27 市町の郷土・歴史・文化財に関する書籍を展示販売しております。この機会にぜひご来場ください。

【開催期間】 平成 29 年 1 月 21 日（土）、22 日（日）

【時間】 午前 10 時～午後 5 時（22 日は午後 3 時まで）

【主催】 東京都市社会教育課長会文化財部会

【会場】 立川市女性総合センターアイム 1 階健康サロン（立川市曙町 2-36-2）

立川駅北口より歩行者デッキで徒歩 7 分

※駐車場はありません。車でお越しの際は隣接する有料駐車場をご利用ください。

## 【参加市町村】

八王子市・立川市・武蔵野市・三鷹市・青梅市・府中市・昭島市・調布市・町田市・小金井市・小平市・日野市・東村山市・国分寺市・国立市・福生市・狛江市・東大和市・清瀬市・東久留米市・武蔵村山市・多摩市・羽村市・あきる野市・西東京市・瑞穂町・日の出町

## 【ご案内・問合せ先】

第 29 回多摩郷土誌フェア事務局

（東久留米市教育委員会教育部生涯学習課文化財係・郷土資料室）

電話 042-472-0051

## NEWS

## 文化財愛護ボランティア養成講座（認定式）



平成 28 度ふるさと文化財愛護ボランティア養成講座（全 7 回）を 7 月 1 日から 9 月 9 日までの期間に実施しました。今年度は、いずみホールでの学習講座や史跡地での実地学習を行い、史跡ガイドボランティア及び文化財普及ボランティア、調査ガイドボランティアの合計 25 名の方を認定しました。

最終日には、教育長から認定証が授与されました。

今後、認定された皆さんは先輩ボランティアさんと共に、当館や史跡での様々な活動にご協力いただきます。



認定式の様子

秋の文化財イベント 11月6日(日)



第33回国分寺まつりに合わせて、イベントを実施します！

おたかの道湧水園 無料公開

第33回国分寺まつりに合わせて、「おたかの道湧水園」を無料公開いたします。当日は園内の武蔵国分寺跡資料館にも無料で入館いただけます。

【無料公開日】 11月6日(日)



武蔵国分寺跡資料館内



おたかの道湧水園内(湧水貯め場)

ガイドボランティアによる現地説明

ガイドボランティアが史跡武蔵国分寺跡周辺の各場所で現地説明をします。

【日時】 11月6日(日) 11:00~15:00

【解説時間】 各場所とも約20分

オリジナルのレプリカをつくろう

武蔵国分寺跡資料館所蔵の鏡瓦等の小さなレプリカをつくりまします。型取りした後に、好きな色をぬった完成品はお土産として持ち帰ることができます。

【日時】 11月6日(日) 第1回 10:30~  
第2回 14:00~

【対象者】 小学生・中学生 各回とも先着20名

【場所】 武蔵国分寺跡資料館講座室  
(西元町1-13-10 おたかの道湧水園内)

【費用】 無料

【申し込み】 不要 直接会場へお越しください。

【問合せ先】 ふるさと文化財課 042-300-0073

【主な解説場所】

武蔵国分僧寺跡金堂跡、武蔵国分僧寺跡七重塔跡、国分寺楼門、真姿の池湧水群

【集合同所】 各解説場所へ直接

【参加費】 無料

【問合せ先】 ふるさと文化財課 042-300-0073

来館者数

2009年10月18日~2016年10月1日まで  
来館者数累計 100,008名

月	来館者数	開館日数
7	501	27
8	417	26
9	465	26
10	18	1
計	1,401	80

※10月は10月1日までの数値です。

【7月~9月の学校見学】  
(学年)(人数)

<市内>  
なし  
<市外>  
帝京大学史学科[3](9名)、東京電機大学中学・高等学校(44名)、創価高等学校[3](7名)

多くのご来館ありがとうございました

※前号の「武蔵国分寺跡資料館だより 第27号」P4でお知らせした11月23日(水)の長屋門上棟式は、平成29年1月29日(日)予定に変更となりました。

武蔵国分寺跡資料館ご利用案内



交通のご案内

※駐車場はありません

【電車】JR国分寺駅下車/徒歩約20分 JR西国分寺駅下車/徒歩約15分

【バス】国分寺市循環バス「ぶんバス」日吉町ルート「泉町一丁目」下車/徒歩約8分  
国分寺駅南口より「京王バス」系統番号(寺83)・(寺85)乗車「泉町一丁目」下車/徒歩約8分

■開館時間

午前9時~午後5時(入館は午後4時45分まで)

■休館日

毎週月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)  
年末年始(12月29日から1月3日まで)  
※展示替えなどで臨時休館することがあります。

■入園料

資料館に入館するには「おたかの道湧水園」への入園料が必要になります。(入園券は史跡の駅で販売)  
一般……………100円(年間パスポート1,000円)  
中学生以下……………無料

【入園料の減免規則があります】

- 学校の教育活動で生徒(中学生を除く)、学生及び引率の教職員が入園するとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
  - 身体障害者及びその介護者が入園するとき〔発券窓口の史跡の駅で身体障害者手帳等の提示が必要です。〕
  - その他教育長が特別の理由があると認めるとき〔事前(5日前まで)に減免申請書の提出が必要です。〕
- ※減免申請書は、国分寺市のホームページからダウンロードできます。



ホームページQRコード